

# 一般社団法人日本顎関節学会 平成 28 年度事業報告書

## I. 目的（定款第 3 条）

本法人は、会員相互並びに国内外の関連団体との交流を深め、顎関節学に関する基礎的及び臨床的研究、教育及び診療についての会員の能力向上を図るとともに、それにより地域社会における口腔の健康の維持と向上に貢献し、もって国民の健康と福祉の増進に寄与することを会員共通の目的として、次の事業を行った。

- (1) 学術大会の開催に関する事業
- (2) 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催
- (3) 機関誌、及びその他の出版物の刊行
- (4) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業
- (5) 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する研修機関等および研修制度の整備
- (6) 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業
- (7) 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究
- (8) 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流
- (9) 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業
- (10) 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰
- (11) その他本法人の目的を達成するために必要な事業

## II. 学術大会の開催に関する事業（定款第 3 条 1 項）

### 1. 第 29 回学術大会

- 1) 会期：2016 年 7 月 17 日（日）～18 日（月・祝）
- 2) 会場：湯本富士屋ホテル
- 3) 大会長：久保田英朗（佐賀大学医学部 歯科口腔外科学講座）
- 4) 参加者：総計 666 名
  1. 事前参加登録者 438 名
  2. 当日参加登録者 228 名
- 5) 総演題数：103 演題
  1. 一般口演 31 演題
  2. ポスター発表 72 演題
- 6) 協賛企業：28 社

### ● 招聘講演「DC/TMD consortium update」

座長：久保田英朗

演者：Per Alsterergren

### ● メインシンポジウム「顎関節症病態分類 2013 の実施と検証」

座長：覚道健治、久保田英朗

演者：久保田英朗、矢谷博文、築山能大、有馬太郎、松香芳三、覚道健治

### ● シンポジウム 1 「神経学的異常による顎関節脱臼の治療戦略」

座長：栗田賢一、依田哲也

演者：川上哲也、堀川博誠、吉田和也

### ● シンポジウム 2 「変形性顎関節症への取り組みー小児から高齢者までー」

座長：小林 馨、矢谷博文

演者：高橋 哲、五十嵐千浪、田中栄二、窪木拓男

- 教育セミナー1 「初心者にもわかる顎関節症治療」  
座長：佐々木啓一  
演者：和嶋浩一
- 教育セミナー2 「見逃してはならない顎関節症に類似した症状を来す疾患」  
座長：村上賢一郎、近藤壽郎  
演者：佐藤 淳、佐藤 仁、高原楠旻、小木信美、津島文彦
- 教育セミナー3 「慢性疼痛への心身医療／歯を食いしばってがんばってきた人々への癒しを創造するアプローチ」  
座長：古谷野 潔  
演者：細井昌子
- 教育セミナー4 「顎関節キャダバーワークショップによる顎関節手術手技研修」  
座長：柴田考典  
演者：柴田考典、高木律男
- 教育セミナー5 「EBM を活用した顎関節疾患の臨床－システムティックレビュー、メタアナリシス論文を読み解く－」  
座長：杉崎正志、木野孔司  
演者：齋藤 高、西山 暁、深澤敏弘
- イブニングセミナー「セルフケアで治す顎関節症」  
座長：島田 淳、高野直久  
演者：島田 淳、渡邊友希、澁谷智明、渡邊 勉
- ハンズオンセミナー「DC/TMD の診断法－筋圧痛検査と関節痛誘発試験－」  
座長：築山能大  
演者：和嶋浩一、小見山 道、大久保昌和、石垣尚一、原 節宏、松香芳三、村岡 渡、有馬太郎、鳥巢哲朗、前川賢治、佐藤 仁
- 平成 27 年度学会賞学術奨励賞受賞講演  
「抗体アレイを用いた TNF- $\alpha$  刺激ヒト顎関節滑膜細胞のケモカイン産生解析」  
演者：阿久津美和
- ランチョンセミナー「咀嚼筋腱・腱膜過形成症の鑑別診断と手術術式」  
演者：覚道健治
- ランチタイムセミナー「顎関節症の病態分類と診断基準－臨床症例の提示と DC/TMD による臨床診断－」  
演者：築山能大

### Ⅲ. 研究発表会、講演会、講習会及び教育研修会などの開催（定款第3条2項）

#### 1. 第40回学術講演会

開催日：2016年10月16日（日）

会場：日本大学歯学部研修医講堂

講師、講演内容：

##### 【顎関節症インタラクティブ コース】

パート1：顎関節症の病態分類と診断基準（レクチャー）

講師：古谷野 潔（九州大学大学院歯学研究院 教授）

パート2：顎関節症の画像診断（ハンズオン：MR像トレース実習含む）

講師：小林 馨（鶴見大歯学部 教授）

パート3：顎関節症の診察・検査（ハンズオン：筋触診実習を含む）

講師：小見山 道（日本大学松戸歯学部 教授）

パート4：顎関節症の症例提示と解説（ケースベースのハンズオン）

講師：築山能大（九州大学大学院歯学研究院 准教授）

パート5：顎関節症の各病態に対する（標準的）治療（レクチャー）

講師：和嶋浩一（慶應義塾大学医学部 専任講師）

参加者：57名（日本顎関節学会会員48名、非会員9名）

（事前参加登録44名、当日参加登録13名）

#### 2. 第41回学術講演会

開催日：2017年5月14日（日）

会場：宮城県歯科医師会館 5階大講堂

共催：宮城県歯科医師会

講師、講演内容：

##### 【顎関節症インタラクティブ コース】

パート1：顎関節症の病態分類と診断基準（レクチャー）

講師：佐々木啓一（東北大学歯学部長）

パート2：顎関節症の画像診断（ハンズオン：MR像トレース実習含む）

講師：本田和也（日本大学歯学部 教授）

パート3：顎関節症の診察・検査（ハンズオン：開口量測定と筋触診実習を含む）

講師：小見山 道（日本大学松戸歯学部 教授）

パート4：顎関節症の症例提示と解説（ケースベースのハンズオン）

講師：築山能大（九州大学大学院歯学研究院 教授）

パート5：顎関節症に対する治療の流れ

講師：和嶋浩一（慶應義塾大学医学部 非常勤講師）

参加者：57名

（日本顎関節学会会員22名、宮城県歯科医師会会員27名、非会員8名）

（事前参加登録47名、当日参加登録10名）

### Ⅳ. 機関誌、及びその他の出版物の刊行（定款第3条3項）

日本顎関節学会雑誌：4回発行（うち1回は大会抄録集）

第28巻特別号（2016年7月発行）

第28巻2号（2016年8月発行）

第28巻3号（2017年1月発行）

第29巻1号（2017年4月発行）

**V. 顎関節疾患、特に顎関節症の治療に関する専門医等の各種資格認定事業  
(定款第3条4項)**

**【新規認定】**

**<専門医および指導医>**

平成28年第指導医、専門医試験を実施。

11月20日(日) 東京駅八重洲俱樂部第2会議室

10:30~11:30=記述試験、12:30~14:30=口頭試問

平成28年度中に指導医7名、専門医5名を新たに認定。

**<暫定指導医>**

講習会・筆記試験を実施。(会場：日本大学歯学部研修医講堂)

**2017年2月25日(土)**

13:30 受付開始

14:00-15:00 「顎関節の臨床解剖」

講師：近藤壽郎(日本大学松戸歯学部顎顔面外科学講座 教授)

15:00-16:00 「顎関節の画像診断について」

講師：小林 馨(鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座 教授)

16:00-17:00 「顎関節症と鑑別を要する疾患」

講師：依田哲也(埼玉医科大学口腔外科学講座 教授)

**2月26日(日)**

9:00-10:00 「DC/TMDについて」

講師：古谷野 潔(九州大学大学院歯学研究院インプラント・  
義歯補綴学分野 教授)

10:00-11:00 「顎関節症Ⅱ軸(心理社会軸)の評価と対応」

講師：和気裕之(みどり小児歯科)

11:00-12:00 「スプリント療法について」

講師：鱒見進一(九州歯科大学歯学部顎口腔欠損再構築学分野 教授)

12:00-12:30 「本学会の研修制度・カリキュラム」

講師：高木律男(新潟大学大学院医歯学総合研究科  
顎顔面口腔外科学分野 教授)

13:30-15:00 筆記試験

筆記試験においては、受験者12名中12名を合格と判定。

(研修機関を申請・承認されれば、本資格取得となる。)

**<新認定医>**

●ポスタープレゼンテーション審査

実施日：2016年7月17日(日) 会場：湯本富士屋ホテル

2016年2月14日(日)に実施した筆記試験の合格者47名の内、12名がポスター  
プレゼンテーション審査を受審。

12名中6名を合格、5名を条件付合格、1名を不合格と判定した。

●講習会・筆記試験を2017年2月26日(日)に実施。

会場：日本大学歯学部研修医講堂

講習会内容は、前述の暫定指導医2日目の内容と同じ。

筆記試験においては、最終的に受験者26名全員を合格と判定。

(第30回学術大会期間中に実施されるポスタープレゼンテーション審査に申請・  
合格すれば、本資格取得となる。)

## 【更新認定】

2016年12月31日が認定期限となる方々の資格更新審査を実施。  
(会場：八重洲倶楽部第2会議室)

### <対象者および結果>

- 専門医および指導医資格：16名 →更新申請15名、保留申請1名
- 指導医のみ更新対象者：1名 →更新申請1名
- 専門医のみの更新対象者：38名 →更新申請36名、保留申請1名、未申請1名  
(更新の意思なし)
- 研修施設 更新対象8施設  
→申請数5施設、保留2施設  
未申請1施設は更新意思なし。(同施設の代表指導医は他施設へ異動し、異動先で研修施設登録をした。)
- 関連研修施設は、更新対象施設は無し。
- 昨年、研修施設の更新を保留した1施設  
→翌年に更新申請予定。(研修機関の更新保留期間は2年まで可能。)

## VII. 顎関節に関する研究者並びに医療・保健・福祉事業者の教育及び育成事業

(定款第3条6項)

## VIII. 顎関節疾患に関する調査並びに合同研究 (定款第3条7項)

顎関節症治療ガイドラインの改訂の検討。

## IX. 国内外の顎関節治療関連団体との連携及び交流 (定款第3条8項)

## X. 顎関節疾患に関する医療・保健・福祉情報の発信並びに啓発事業 (定款第3条9項)

- 学術大会の運営
- 各都道府県歯科医師会への「新顎関節症の病態分類」の学術講演に関する本学会からの講師派遣依頼。  
→宮城県歯科医師会 (2016/6/30)、秋田県歯科医師会 (2016/7/3)、千葉県歯科医師会 (2017/2/5) の計3カ所にて実施。

## XI. 研究の奨励及び助成並びに研究業績の表彰 (定款第3条10項)

- 平成28年度学会賞特別賞  
該当者なし
- 平成28年度学会賞学術奨励賞  
受賞候補者名：中川 聡 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科  
口腔機能再建学講座)  
受賞論文名：急性非復位性関節円板前方転位に対する関節円板復位療法の  
適応に関する臨床的検討  
(日本顎関節学会雑誌 27 卷 (2) 号, P. 93~P. 102)

## XII. その他法人の目的を達成するために必要な事業 (定款第3条11項)